

看護は私の生き方そのもの

著：長濱晴子／医学書院

定価：本体 1,800 円 + 税／TEL：03-3817-5657

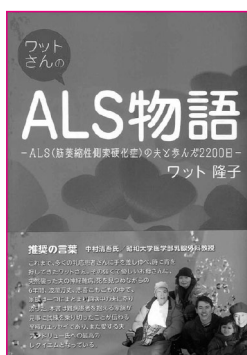
■臨床を皮切りに、行政、立法と看護の地位向上に携わる仕事をしてきた著者を突然襲った重症筋無力症。入院生活で味わった患者に無関心な看護の姿に、自宅療養による自己看護＝セルフナーシングを決意。それこそが自らの人生を豊かにするチャレンジの始まりであった。発症から 20 年、「病」とは何かを問い続け、看護の基本を説く先輩ナースの語りは珠玉の言葉に満ちている。

3・11 に生まれた君へ

編：「君の椅子」プロジェクト／北海道新聞社

定価：本体 1,600 円 + 税／TEL：011-210-5744

■2011 年 3 月 11 日生まれの子どもたちに、「生まれてくれてありがとう。君の居場所はここにあるからね」(「はじめに」より)のメッセージを込めて、「君の椅子」が贈られた。この本は、あの日新しい命をこの世に母さん、お父さんのよろこびの声と感謝の花束。たくさんの命が失われた日に、この世に生まれ、大きな苦難を乗り越えた子どもたち。語り継がれることの意味は重い。



ワットさんの ALS 物語

ALS(筋萎縮性側索硬化症)の夫と歩んだ 2200 日

著：ワット隆子／ヴィゴラスメド

定価：本体 1,500 円 + 税／TEL：03-5777-2455

■乳がん患者会「あけぼの会」の主宰者、ワット隆子氏の夫アンドリューさんの 6 年の闘病生活。「延命治療に意味があるのかと問われれば、意味はない、と私は答える。しかし…」(本文より)と、かけがえのない家族の命でありながら、長い介護が大きな負担となることを、隆子さんは怜悧に語る。家族の 1 人ひとりが、大きな不安と迷い、深い愛情を心に抱きながら、大きな決断をくだしていく。

※この書籍に関しては紀伊國屋書店または「あけぼの会」(TEL：03-3792-1204) (E-mail：akebonoweb@m9.dion.ne.jp) までお問い合わせください。

看護に役立つ病態生理とアセスメント

総監修：佐藤紀子／監修：原三紀子／エス・エム・エス

定価：本体 2,800 円 + 税／TEL：03-6721-2472

■「呼吸」「飲食」「排泄」「睡眠」など、ヘンダーソンの 14 項目の基本的ニーズの枠組みを用いて、患者情報を整理し、アセスメントする。看護界に広く浸透し、使いやすい枠組みを使って、疾患の系統ごとに検討することにより、その人の全体像の把握に迫る。疾病の事例とアセスメント、関連図の活用で手順を示す。今後、さまざまな場で求められる看護のアセスメント能力を確実にするための 1 冊。

